

ライフスタイルを見直し，省エネを進めよう

すべての国と地域が温室効果ガス排出削減に取り組むことを定めた国際枠組みである「パリ協定」が発効し，国際的な地球温暖化対策の重要性はますます高まっています。わが国も「2030年度に2013年度比26%削減」という温室効果ガス削減目標を掲げており，その達成には長期エネルギー需給見通し（エネルギーミックス）の実現が不可欠となっています。

こうしたなか，わが国でのエネルギー供給を巡る状況は依然として厳しく，火力発電への依存度が高水準の状況であり，今後のエネルギー供給は，安全性を大前提とした上で，安定供給を第一とし，経済効率性の向上による低コスト化や環境負荷の低減を図ることが強く望まれています。一方，エネルギーを消費する側も，これまでのライフスタイルを見直すなどの努力を続けていくことによる徹底した省エネルギーの取組が求められています。

私たちは，これまでのライフスタイルを今一度振り返ることの呼びかけを行い，皆さまとともに省エネに取り組んでまいりました。引き続き，夏場の軽装，空調や照明・パソコンの使い方の見直しなど，様々な取組を実践するとともに，エコドライブの推進，エコカー・省エネ設備の導入などを図ってまいります。

中国地域の皆さまにおかれましても，これまで以上に家庭や事業所において省エネに取り組むことで，脱炭素社会に向けたライフスタイルを実践していただくとともに，これらの取組を一層，地域で広げていただきますよう，ご協力をお願いいたします。

2018年5月23日

中国地域発展推進会議

鳥取県知事	平井伸治
島根県知事	溝口善兵衛
岡山県知事	伊原木隆太
広島県知事	湯崎英彦
山口県知事	村岡嗣政
(一社) 中国経済連合会会長	苅田知英
鳥取県商工会議所連合会会長	藤縄匡伸
島根県商工会議所連合会会頭	古瀬誠
岡山県商工会議所連合会会長	岡崎彬
広島県商工会議所連合会会頭	深山英樹
山口県商工会議所連合会会頭	川上康男

(参考) 中国地域各県の省エネに関する主な取組のご紹介

鳥取県	<p>○JAXAと連携した「エコ宣言を宇宙に届けようキャンペーン」や、海・山やスタジアムなどに出かけ楽しみながら省エネにつなげる「海で山でクールシェア！」キャラバンなどを実施し、県民、団体、事業者とともに省エネに取り組みます。</p> <p>○都道府県初の「星空保全条例」を制定した本県の美しい星空を守り・活かすため、必要のない照明を消し星空を楽しむ「星取県ライトダウンキャンペーン」を展開することで、省エネにつなげます。</p>
島根県	<p>○「しまね流エコライフ推進事業」の実施 県内の20～30代の若者を中心とした「しまね流エコライフ発信プロジェクト」の検討チームが提案した、「2030年しまねの暮らし」を実現するため、若い世代向け、一般家庭向け、県内企業向けの施策を総合的に推進。学生ボランティア制度創設、クールスポットでの「うちエコ診断会」や「食材の使い切り講座」などを通じて環境にやさしいライフスタイルへの転換を図ります。</p> <p>○省エネの伝道師「スマートライフマン」、 「打ち水大作戦」等の啓発事業の実施</p> <p>○エコ経営相談、省エネ診断等と併せて、中小企業に対し、電力使用量を管理・制御する設備（デマンドコントロールシステム）の導入助成制度を開始</p>
岡山県	<p>○「アースキーパーメンバーシップ制度」の実施 県民と事業者を対象に、待機電力カットの徹底やエコドライブなど、地球温暖化防止のための様々な環境負荷低減に向けた活動に取り組んでいただくことを目的として、アースキーパーメンバーシップ制度を実施しています。平成30年4月にはホームページを刷新し、会員同士がタイムリーに情報を共有できるようにするなど、制度の充実を図りました。詳細は「アースキーパーメンバーシップ (https://earth-keeper-okayama.jp/)」をご覧ください。</p> <p>○「おかやま COOL CHOICE! サポーター」、 「協働による環境学習出前講座」等の実施</p>
広島県	<p>○「ひろしまエコチャレンジ」の推進 県民が地球温暖化問題への理解を深め、日常生活において省エネ行動を自主的かつ積極的に進めていただくことを目的として、家庭でエコ活動する楽しさを知ってもらい、楽しみながら省エネにチャレンジできる家庭向けの省エネサイト「ひろしまエコチャレンジ」を平成29年10月に開設し、家庭における省エネ行動の促進を図ります。詳細は「ひろしまエコチャレンジ (https://www.hiroshima-eco.com/)」をご覧ください。</p> <p>○「ひろしまクールシェア」、 「環境の日ひろしま大会」等の実施</p>
山口県	<p>○「ぶちエコやまぐち」CO₂削減県民運動の推進 家庭や事業所における地球温暖化対策を一層進めるため、「ぶちエコやまぐち」を合言葉に省・創・蓄エネの取組によるCO₂削減県民運動を展開します。 今年度の新たな取組として、自転車利用によるCO₂削減効果をデータで見るアプリを構築し、通勤や買い物時の自転車利用の推進を図るとともに、家庭用蓄電池に対する助成制度を創設し、売電から自家消費への切替を促進するなど、CO₂排出削減を加速化します。詳細はホームページをご覧ください。 (http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a15500/buchieco/buchiecoyamaguch.html)</p>
各商工会議所	<p>○環境社会検定試験（eco 検定）の実施 eco 検定は、複雑・多様化する環境問題を幅広く体系的に身に付けることができる「環境教育の入門編」として実施している商工会議所の検定試験であり、幅広い業種・職種の皆様に活用いただいております。 eco 検定試験の詳細は http://www.kentei.org/eco/ をご覧ください。</p>